

9月16日

テーマ：「エパタ（開け）」

聖書箇所：マルコの福音書7章32節～37節

◆今日のみことば

そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。
マルコの福音書7章33節

◆メッセージ

私たちの周りには体のことで苦しい思いをしている人たちが沢山います。

イエスさまの時代にも苦しい思いをしている人たちがいました。今日の聖書箇所には耳が聞こえず、話ができない人が登場します。そしてその人が、イエスさまと出会います。

この人は、自分でイエスさまのところへやってきたのではありませんでした。この人の友達がこの人のことを治してあげたくて、イエスさまのところに来てくれたのです。そして、この人のために頭に手を置いてお祈りしてくださいとお祈りしました。

イエスさまはこの人だけをみんなの中から連れ出して、聞こえない耳に指を差し込んだあと、その人の舌にイエスさまのつばを手でつけました。こんなことされた人はどんな気持ちだったかな。耳が聞こえない、話ができない人にとって、一番傷んでいるところに、イエスさまが触ってくださいました。この人は、イエスさまの手のぬくもりを温かく感じただろうね。そして、愛を受けとめたことでしょう。イエスさまは、大きく息を吸って、天に向かって「エパタ」（「開け」という意味のアラム語）と言われました。

するとこの人の耳は聞こえるようになって、話しもできるようになりました。イエスさまはこの人の弱い部分を直接さわって、神さまにお祈りして治してくださったのです。イエスさまは、この人に自分が治してもらったことを誰にも話してはいけないと言われました。でも、この人は沢山の人が自分治してもらったことを話してしまいました。生まれてからずっと耳が聞こえなくて、話しもできない生活をしてきたので、耳が聞こえるようになって、話しもできるようになったことが嬉しくて、黙っていられなかったのかもしれないね。

この話しを聞いた人はみんな驚きました。「この方のなさったことは、みなすばらしい。耳の聞こえない者を聞こえるようにし、口のきけない者を話せるようにされた。」とイエスさまの奇跡ばかりが伝わってしまったのです。イエスさまはイエスさまに会えば「病気が治る」とか、「耳が聞こえる」とか、「話しができるようになる」とその部分ばかりの話しをしないようにと言われたのです。

イエスさまは、その人の一番つらいところにさわってくださる救い主です。イエスさまは私たちに心を開き、イエスさまを信じることを求めておられます。イエスさまのことを正しく知り、正しく伝えていきましょう。



◆お祈り

「苦しい時にも、神さまに頼って、イエスさまを信じます。私の心を開いて、救ってください。私たちも神さまのことを正しく伝えることができますように。」
（上大岡聖書教会牧師 杉江真）